

長者町アートアニュアル実行委員会〔まち“夢”工事部門〕活動視察

- 日 時：平成26年3月14日（金）10：30～11：30
- 場 所：名古屋市中区錦2丁目 長者町界限

【長者町アートアニュアルについて】

「あいちトリエンナーレ2010」終了直後、継続的なアートまちづくりを推進するために有志で結成された任意団体です。

これまではイベント開催を中心に行ってきましたが、それらに加え長者町界限で活動を行いたい若手作家や関連する団体に対し、制作場所やレジデンス、ミーティングやイベントスペースを提供する拠点づくりも始めています。

「長者町スタジオ」「長者町アーティストインレジデンス」「長者町プラットフォーム」の3つの拠点のための案内看板の整備、「長者町ベンチ」の製作・設置など、まち全体で共有できる場の整備もすすめています。

【活動の様子】

寒さも緩みはじめた3月14日（金）、完成した案内看板と「長者町ベンチ」、インフォメーションスタンドの完了報告を受け長者町アートアニュアルの活動視察に行ってきました。

まず、目に入ったのがビルの前に置かれた木製ベンチです。オープンスペースのなかったこの界限で風情のある木製のベンチが置かれており商店街のビルの中の空間も懐かしい安らぎがあるように思えました。



全体が木製の長者町ベンチ



周辺の通りの名前の焼き印がつけられたベンチ。格子がレトロな風情を醸し出しています。

ベンチの置かれているビルの反対側には長者町界隈の様々なイベントチラシが開架してあるインフォメーションスタンドが設置してありました。



ビルの前に置かれたインフォメーションスタンド。大小様々なチラシがカラフルに入っています。

インフォメーションスタンドもベンチと同じ木製で温かみがあり、前面に透明の亚克力板をつけることで、小さなチラシも置きやすい工夫がされていました。



**青と白のコントラストですっきりとデザインされた案内看板。
長者町の文字を囲う半纏のイラストも繊維街らしく感じました。**

長者町は地元企業が多いという利点を活かして「まちぐるみでの拠点運営」を行っており、イベント開催などの状況に合わせ移動できるベンチや、今後、拠点場所が移った際にも使用できるインフォメーションスタンドや案内看板などを活用し、これまで以上にまち全体が活性化されることを期待しています。



ぴよんちゃんの感想

寒さも和らいで、お天気もよくレトロと今が交錯し合っているような長者町界隈は歩くのも楽しく、時間があればゆっくりとまち歩きがしたい気分でした。

古くからの問屋ビルの間にある新しい小さなお店など新しい発見ができそうでそんなまち歩きに、インフォメーションスタンドや、ちょっと腰を掛けられるベンチわかりやすい案内看板などはとてもありがたいと思いました。

「おもてなし」の心のこもった整備がこれからも進められ、より場を活かした、よりよいまちづくりがなされることを楽しみにしています。



P e c o の感想

情報を得る側に配慮がされた「インフォメーションスタンド」は使いやすく、間伐材を使用し、まちの通りをデザインした「ベンチ」は、まちのアピールと憩いの工夫がされている。また、ベンチを長者町界隈の至る所に配置し、多様な担い手により維持管理することは、まちづくりを一団体だけでなくまち全体で取り組むことに繋がり、まちづくりを進めるうえで欠かせないことだと感じました。

提案にあった「壁画」が実施できなかったことは大変残念なことであり、今回のことを今後の活動に活かしてほしいと思います。

イベントだけにとどまらず、まちの拠点づくりの実施は、まちで暮らす者や活動する者とまちを訪れる者を結びつけることができるため、今後の活躍が大いに期待されます。